

## 第 238 回理事会報告（つづき）

### 長寿記念祝金以外の変更なし

- ・療養補助金の給付率は従来通り「定額控除後の 7 割給付」
- ・平成30年度の出資金の額は従来通り89万円（60歳基準）

第 238 回理事会では療養補助金給付事業についても審議され、財務状態が堅調に推移していることから「平成 30 年度出資金の額は従来通り 89 万円（60 歳基準）」、給付率は従来通り「定額控除後の 7 割給付とする」ことが承認されました。

また、本年度の教育文化事業（第 2 回観劇会）と平成 30 年度厚生事業（人間ドック補助事業）（いずれも詳細は後述）についても審議され、従来通り実施することなどが承認されました。

一方、中間決算報告では日銀のマイナス金利政策等の影響による本会の運用益減少の長期化が予想されること、さらに今後の国の医療制度改定の動向もあり、本会事業のあり方について引き続き注視していくこと、などが論議されました。

なお、厚生事業（人間ドック補助事業）については従来手薄であった尾西地区の会員の利便性を図るため、県内 7 つの受診機関に加えて新たに「愛知厚生連 海南病院」を加えることを承認しました。

### 新規退職会員 269 名 (374 口)、9,600 名を超える大組織に

今年度新たに退職会員に移行された方は配偶者を含めて 374 名で、その結果 9 月末での退職会員数は 9,672 名となりました。移行率は 7 割であり、一時期の 5 割程度まで下がった状況から大幅に改善されました。移行率が回復してきた背景には、給付抑制によって本会の財政が好転してきたことが大きく、今後とも本会の安定的財政運営が欠かせないものと考えています。

一方、新規現職会員加入は 198 名（296 口）で、昨年度には及ばなかったものの、以前の加入者が低迷した時期からの回復基調は続いています。退職会員のみならず、機会があれば現職の方に本会の良さをお伝えいただきますと幸いです。

### 観劇会の実施について

10 月 4 日（水）に実施しました第 1 回観劇会（歌舞伎顔見世興行）は、155 名の申込者でした。第 2 回の観劇会は、昨年同様中日劇場での宝塚歌劇公演で実施いたしますが、平成 30 年 3 月末での中日劇場閉鎖に伴い、中日劇場での最後の宝塚公演となります。（4 ページに募集案内を掲載）

### 退職互助会説明会の実施

本年度退職予定者を対象に、10 月 7 日（土）に岡崎市民会館で、10 月 14 日（土）に愛知県教育会館で行われました。配偶者の方の同伴を含め、両会場を合わせて 277 名の方が参加され、本会への期待の高さを感じました。

### 全教互・陳情署名活動にご協力ありがとうございました

本会が加盟している全国教職員退職互助団体協議会は、毎年社会保障制度の維持と充実等を求めて国会に向けて陳情署名を行っています。本年度も 7 月発行の広報 93 号と一緒にお届けした「国民が安心して暮らせるための社会保障制度の確立等を求める陳情」署名用紙に約 1,000 名の方々の署名をいただきました。今後も年金・医療等の社会保障制度の充実を求めて努力していきます。多くの退職会員のみならず、ご協力に感謝するとともに、来年度も是非ご協力をお願いいたします。